

# 全Aネットのめざすもの

A型せとうちサミット

平成30年3月18日



NPO法人就労継続支援A型事業所全国協議会

# A型事業の必要性

- 一般就労が難しい障害者にとって、最賃を保障され、労働者として身分保障がされる、福祉的就労分野における労働者性を有する唯一の事業である。
- 必要以上に負荷をかけずに働けることができ、精神面や仕事以外の生活面でもサポートが期待でき、また企業に近い環境で一般就労に向けた職業訓練が期待できる制度でもある。
- 多様な働き方ができる。

# 全Aネットのめざすもの

## ～健全なA型事業運営をめざす～

- アセスメントを入念に実施、自己決定を尊重、就労と地域生活を支援
- 働きがいのある仕事の提供
- 労働者としての権利保障と職業訓練
- 安全衛生環境の確保
- 本人の希望で、一般就労へ支援
- 提供するサービスの自己評価を行い、事業の継続・発展に努める

(A型事業所の質の評価のセルフチェック表)

# 全Aネットめざすもの

## ～全Aネットの今年度の取組み～

- ヤマト福祉財団助成を受けて、平成28年2月にA型事業所の予備実態調査を、さらに平成29年2月に本格実態調査を実施し、6月に報告書を発行した。（全Aネットホームページ掲載）
- 日本財団から平成29年度助成「中間的就労分野における就労継続支援A型事業の可能性拡大事業」を受託、前述の実態調査結果をもとに年9回の専門家による「研究会」と、全国4都市（大阪・福岡・愛知・横浜）において「A型フォーラム～いいA型のあり方を考える」を開催した。

# 全Aネットめざすもの ～今後の取組み～

- A型事業所の好事例集の作成
- 優良事業所の認定制度構築
- 各地方での良きA型事業所を増やす取組み～各地でフォーラム計画

# 全Aネットめざすもの

## ～A型事業の可能性について～

- 福祉予算が厳しい中、持続可能なA型の制度
- 障害者権利条約に批准、インクルーシブで  
ディーセントな障害者就労施策は喫緊の課題、  
合理的配慮が社会一般に根付くまでの間、  
A型の果たす役割は大きい
- 一億総活躍社会の実現が言われていて、障  
害者以外の引きこもりやニートなどの利用可  
能性についても検討（ソーシャルファーム）